



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日

上場会社名 日特エンジニアリング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6145 URL http://www.nittoku.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 進茂
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 磯田 博 (TEL) 048(837)2011
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 平成28年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	10,981	△3.0	1,242	44.3	1,342	41.6	914	7.9
28年3月期第2四半期	11,322	14.1	861	△14.5	948	—	847	25.2

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 508百万円(△25.2%) 28年3月期第2四半期 679百万円(△33.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	50.62	—
28年3月期第2四半期	46.92	—

(注) 従来、「固定資産除却損」は「特別損失」に表示しておりましたが、平成29年3月期第1四半期連結累計期間より「営業外費用」に含めて表示しております。平成28年3月期第2四半期連結累計期間については、遡及処理後の数値を記載しております。当該遡及修正が行われたため、平成28年3月期第2四半期の「経常利益」の対前期増減率は、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	27,785	21,369	76.7
28年3月期	27,832	21,113	75.7

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 21,316百万円 28年3月期 21,061百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
29年3月期	—	14.00			
29年3月期(予想)			—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

第2四半期末配当は11月11日の取締役会で決議される予定です。

3. 平成29年3月期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	4.8	2,900	57.0	2,950	45.4	2,000	27.0	110.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	18,098,923株	28年3月期	18,098,923株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	30,823株	28年3月期	30,750株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	18,068,149株	28年3月期2Q	18,068,257株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済の動向は、上下を繰り返しながらも浮揚トレンドにあるアメリカ経済への期待が拠り所である状況が続き、ヨーロッパ経済が弱いながらも安定化して回復への道を探り始めました。一方で、中国経済はいくつかの改革の打ち出しがあったもののその成果の確認が難しく、方向性を含め不透明感が継続することとなりました。他方、為替は、世界経済のボーダーレス化が進む中で変動要因の多様化が増大し、原油価格は生産国の情勢や事情が強く意識される展開が続いております。

世界の産業界は半導体、ITの登場以来、短時間で様相が大きく変化し、多くの分野でソフトとデバイスの開発により多種多様な製品・部品が電子化、システム化、モジュール化され、そして急速にコモディティ化へと進むようになりました。

当社グループは、電気・電子関連デバイスの生産設備の開発、製造を手がけ、特に巻線を基礎とするコア技術とエレメント技術を深堀り、拡張しながら、精密FA設備においてグローバルニッチトップの地位を固めてまいりました。そして将来的に、インダストリー4.0に代表されるAI、M2M、スマートファクトリー、デファクトスタンダードといった未来創造のリーディングメンバーとなるため、多種多様なデバイスの生産設備の開発、導入・安定稼働、生産管理、トレーサビリティ、品質管理、サービス・メンテナンス、パーツ販売、ソリューションをトータルで提供し、さらに持続的なイノベーションを提案するFAインテグレーターへのステップアップを目指した施策にリソースを投じ続けております。この過程で、現在、精密生産設備に求められるライン化、自動化、生産対象品の高品質化への対応が進み、中国経済の減速など世界景気が不透明な中にあっても引合いは増加しております。また、当社は輸出が売上高の70~80%を占めますが、原則、円建てによる取引としており、業績に対する為替の影響を抑えております。

当第2四半期連結累計期間においても、長崎大学と制御・計測に関連した共同研究講座の開設、素材メーカーであるリード社との小型ダイシングワイヤーソー、ソフト開発のTrigence Semiconductor社とのフルデジタルスピーカー用マルチコイル生産設備の共同開発などを戦略的オープンイノベーションにより進めました。

これらの結果、売上高は109億81百万円（前年同期比3.0%減）、営業利益は12億42百万円（前年同期比44.3%増）、経常利益は13億42百万円（前年同期比41.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億14百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(巻線機事業)

全売上高の約93%を占める巻線機事業におきましては、前述の結果、連結売上高は102億30百万円（前年同期比5.0%減）、セグメント利益（営業利益）は15億72百万円（前年同期比31.0%増）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は88億94百万円（前年同期比8.3%減）、売上高（生産高）は92億17百万円（前年同期比5.3%減）、当第2四半期末の受注残高は78億55百万円（前年同期比7.0%減）となりました。

(非接触ICタグ・カード事業)

非接触ICタグ・カード事業におきましては、連結売上高は7億50百万円（前年同期比36.9%増）、セグメント利益（営業利益）は1億33百万円（前年同期比149.8%増）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は11億92百万円（前年同期比51.3%増）、売上高（生産高）は7億50百万円（前年同期比36.9%増）、当第2四半期末の受注残高は7億14百万円（前年同期比49.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前連結会計年度末対比1億47百万円減少し、216億3百万円となりました。これは主として、現金及び預金が16億90百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が8億72百万円、仕掛品が3億68百万円、繰延税金資産が1億69百万円減少したことによります。

固定資産は前連結会計年度末対比1億円増加し、61億81百万円となりました。これは主として、投資有価証券が59百万円増加したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比46百万円減少し、277億85百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末対比3億27百万円減少し、60億7百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が5億3百万円減少したことによります。

固定負債は前連結会計年度末対比25百万円増加し、4億8百万円となりました。これは主として、繰延税金負債が15百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比3億1百万円減少し、64億16百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末対比2億55百万円増加し、213億69百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、資金という。)は、前連結会計年度末対比15億8百万円増加し、93億20百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は25億53百万円(前年同期比562.3%増)となりました。これは主として、仕入債務の減少が4億57百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が13億42百万円、売上債権の減少7億74百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5億42百万円(前年同期は20億5百万円の収入)となりました。これは主として、定期預金の払戻による収入が8億54百万円あったものの、定期預金の預入による支出が11億46百万円、有形固定資産の取得による支出が1億88百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は前年同期とほぼ同額の2億54百万円となりました。これは配当金の支払額が2億54百万円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の数値は、今後のさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。なお、平成28年5月13日に公表いたしました通期業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第2四半期連結累計期間
(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,419,549	12,110,270
受取手形及び売掛金	6,255,786	5,383,496
仕掛品	3,309,222	2,941,049
原材料及び貯蔵品	602,862	556,834
繰延税金資産	486,518	316,919
その他	703,669	318,207
貸倒引当金	△26,295	△22,966
流動資産合計	21,751,313	21,603,811
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,898,138	1,902,031
機械装置及び運搬具(純額)	600,727	554,519
土地	667,893	667,893
その他(純額)	285,455	314,611
有形固定資産合計	3,452,214	3,439,056
無形固定資産		
のれん	49,004	41,465
その他	95,722	149,208
無形固定資産合計	144,727	190,674
投資その他の資産		
投資有価証券	1,667,653	1,727,145
その他	816,099	824,609
投資その他の資産合計	2,483,752	2,551,755
固定資産合計	6,080,695	6,181,486
資産合計	27,832,008	27,785,297

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,473,018	3,969,487
未払法人税等	50,125	288,724
賞与引当金	395,063	485,902
その他	1,417,637	1,263,849
流動負債合計	6,335,845	6,007,964
固定負債		
繰延税金負債	97,070	112,135
退職給付に係る負債	80,794	91,614
その他	204,476	204,476
固定負債合計	382,341	408,226
負債合計	6,718,187	6,416,191
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,884,928	6,884,928
資本剰余金	2,542,054	2,542,054
利益剰余金	10,878,560	11,540,222
自己株式	△23,603	△23,694
株主資本合計	20,281,939	20,943,510
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	286,090	320,979
為替換算調整勘定	606,786	139,566
退職給付に係る調整累計額	△113,181	△88,013
その他の包括利益累計額合計	779,695	372,532
非支配株主持分	52,186	53,063
純資産合計	21,113,821	21,369,106
負債純資産合計	27,832,008	27,785,297

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	11,322,661	10,981,726
売上原価	8,601,890	7,817,200
売上総利益	2,720,771	3,164,526
販売費及び一般管理費	1,859,685	1,922,204
営業利益	861,086	1,242,321
営業外収益		
為替差益	24,764	37,826
その他	70,139	68,456
営業外収益合計	94,904	106,283
営業外費用		
固定資産売却損	82	1,636
減価償却費	3,193	2,816
その他	4,622	2,034
営業外費用合計	7,898	6,488
経常利益	948,093	1,342,116
特別利益		
固定資産売却益	387,244	—
特別利益合計	387,244	—
特別損失		
減損損失	10,389	—
特別損失合計	10,389	—
税金等調整前四半期純利益	1,324,948	1,342,116
法人税、住民税及び事業税	63,223	261,861
法人税等調整額	403,906	160,002
法人税等合計	467,130	421,864
四半期純利益	857,817	920,252
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,994	5,635
親会社株主に帰属する四半期純利益	847,823	914,616

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	857,817	920,252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△83,355	34,888
為替換算調整勘定	△112,663	△471,978
退職給付に係る調整額	17,714	25,168
その他の包括利益合計	△178,305	△411,921
四半期包括利益	679,512	508,330
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	676,266	507,453
非支配株主に係る四半期包括利益	3,245	877

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,324,948	1,342,116
減価償却費	212,504	205,148
減損損失	10,389	—
のれん償却額	7,539	7,539
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△232	△3,294
賞与引当金の増減額(△は減少)	68,479	97,157
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△28,640	47,714
受取利息及び受取配当金	△50,542	△32,646
有形固定資産売却損益(△は益)	△388,605	△3,133
売上債権の増減額(△は増加)	△120,706	774,260
たな卸資産の増減額(△は増加)	25,885	346,811
仕入債務の増減額(△は減少)	△116,221	△457,410
その他	24,839	10,433
小計	969,637	2,334,697
利息及び配当金の受取額	50,595	33,780
法人税等の支払額	△639,285	△92,823
法人税等の還付額	4,645	278,021
営業活動によるキャッシュ・フロー	385,592	2,553,676
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,135,790	△1,146,861
定期預金の払戻による収入	2,777,587	854,425
有形固定資産の取得による支出	△127,029	△188,020
有形固定資産の売却による収入	1,623,897	6,517
投資有価証券の取得による支出	△81,999	△26,588
保険積立金の積立による支出	△63,274	△37,270
保険積立金の払戻による収入	29,167	31,560
その他	△17,214	△35,769
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,005,343	△542,005
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△150	△90
配当金の支払額	△253,830	△254,005
財務活動によるキャッシュ・フロー	△253,980	△254,095
現金及び現金同等物に係る換算差額	△75,091	△248,607
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,061,863	1,508,967
現金及び現金同等物の期首残高	5,082,327	7,811,802
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,144,190	9,320,769

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	巻線機事業	非接触 I C タグ・ カード事業	
売上高			
外部顧客への売上高	10,774,239	548,422	11,322,661
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	10,774,239	548,422	11,322,661
セグメント利益	1,200,374	53,616	1,253,990

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,253,990
全社費用(注)	△392,904
四半期連結損益計算書の営業利益	861,086

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	巻線機事業	非接触 I C タグ・ カード事業	
売上高			
外部顧客への売上高	10,230,793	750,932	10,981,726
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	10,230,793	750,932	10,981,726
セグメント利益	1,572,589	133,944	1,706,533

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,706,533
全社費用(注)	△464,212
四半期連結損益計算書の営業利益	1,242,321

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。